

オーテピア高知図書館サービス計画進捗状況（R元.5.31 会議資料）

1 地域を支える情報拠点機能の充実		3 利用者に応じた図書館サービスの充実	
(1)資料・情報の提供（貸出し・閲覧・予約）	・・・ P 1	(1)児童サービス	・・・ P 9
(2)高知県関係資料の収集・保存・提供	・・・ P 2	(2)ティーンズ・サービス	・・・ P 10
2 暮らしや仕事の中でのさまざまな課題解決への支援		(3)多文化サービス	・・・ P 11
(1)レファレンス・サービス	・・・ P 3	(4)図書館利用に障害のある人へのサービス	・・・ P 13
(2)課題解決支援サービス		4 連携・支援及び図書館の活用	
①ビジネス・農業・産業支援サービス	・・・ P 4	(1)市町村立図書館等への支援（県立図書館機能）	・・・ P 15
②健康・安心・防災情報サービス	・・・ P 6	(2)高知市全域サービスの拠点（市民図書館機能）	・・・ P 17
(3)情報リテラシー向上支援サービス	・・・ P 7	(3)県立学校図書館等との連携・協力（県立図書館機能）	・・・ P 18
(4)行政支援サービス	・・・ P 8	(4)中心市街地活性化への寄与・周辺施設との連携	・・・ P 19

サービス指標の状況

目 標 (平成33年度)	実 績 (平成31年3月末日現在)	評 価 (開館から1年間の見込み)
■ オーテピア来館者数 100万人	■ オーテピア来館者数 747,393人	■ オーテピア来館者数 ○
■ 年間個人貸出点数 110万点	■ 個人貸出点数 714,470点	■ 個人貸出点数 △
■ レファレンス件数 3万件	■ レファレンス件数 30,041件	■ レファレンス件数 ○

大項目	中項目	サービス計画本文	11月末までの【取組状況】(Do) それに対する【評価・課題】(Check) ※実績データは開館日7/24～11/30のもの (注釈のあるものを除く)	3月末までの【取組状況】(Do) それに対する【評価・課題】(Check) ※実績データは開館日7/24～3/31のもの (注釈のあるものを除く)	今後の『改善』 (Action) (課題があれば対策を 意識して記入)
1	地域を支える情報拠点機能の充実				
	(1)資料・情報の提供 (貸出し・閲覧・予約) 資料、貸出し・予約・リクエスト、展示、利用ガイド、職員研修	<p>図書館は、資料や情報を収集・保存し、利用者の求める情報を提供することを目的としてサービスを行っています。</p> <p>資料は、館内で自由に閲覧できるだけでなく、好きなものを好きな時間に読めるよう、貸出しも行っています。希望の資料が貸出中の場合には、予約することができますし、所蔵していない資料は、他館からの取り寄せや購入等により、利用者のリクエストに積極的にお応えします。</p> <p>利用者の多様な資料要求等に応えるため、「幅広い資料の収集」を行い、必要な情報にアクセスできるようにサポートしやすい体制を準備するなど、「利用しやすい環境」を整備します。</p> <p>また、おもてなしの気持ちを持って、「誠意ある対応」を常に意識しながら、資料・情報を提供します。</p> <p>利用者はさまざまな利用スタイルに合わせ、閲覧席や静寂読書室、グループ室、ラーニング・コモンズのほか、自習ができる学習室を利用できます。また、館内には、セルフ式貸出機やセルフ式予約受取コーナーを設置します。窓口での混雑を和らげ、待ち時間の短縮を図るとともに、プライバシーに配慮したうえで、利用者自身で手軽に借りられるようにします。</p>	<p>①資料の収集・提供 ○利用者の多様なニーズに応える資料の収集・提供 H30資料購入費 183,263千円（県101,263千円、市82,000千円） うちオーテピア高知図書館分136,263千円（県101,263千円、市35,000千円）＊いずれも当初予算額 《一般図書》 【取組】図書受入32,593冊（購入：26,502冊 寄贈等：6,091冊 H30.4～11月末） 【評価・課題】計画的に購入できている。 《新聞・雑誌》 【取組】新聞・雑誌受入：1,815タイトル 雑誌受入7,652冊（うち購入6,071冊、寄贈等1,581冊 H30.4～11月末） 【評価・課題】計画的に購入できている。 《電子書籍》 【取組】利用可能タイトル数：3,211 閲覧：2,873回 【評価・課題】来館しなくても利用できる資料であることから貸出数も伸びている。</p> <p>②貸出し・予約・リクエスト ○セルフ貸出機等の利用 【取組】セルフ式の貸出機や予約受取コーナーを配置済。2F7台（うち2台は予約受取コーナー内）、3F2台 【評価・課題】セルフ貸出機の使用率は約77%。 ○資料のリクエスト・取り寄せ（相互貸借） 【取組】リクエストを受けた資料は積極的に収集しており、購入できない場合は相互貸借を利用している。 相互貸借実績：434件 【評価・課題】リクエストを受けた後の購入の検討、相互貸借の事務に時間を要する場合がある。</p>	<p>①資料の収集・提供 ○利用者の多様なニーズに応える資料の収集・提供 H30資料購入費 184,148千円（県101,979千円、市82,169千円） うちオーテピア高知図書館分133,963千円（県101,979千円、市31,984千円）＊いずれも決算額 《一般図書》 【取組】図書受入55,380冊（購入：41,174冊 寄贈等：14,206冊 H30.4～H31.3月末） 【評価・課題】計画的に購入できた。 《新聞・雑誌》 【取組】新聞・雑誌受入：新聞150紙・雑誌1,509タイトル 雑誌受入12,269冊（うち購入9,085冊、寄贈等3,184冊 H30.4～H31.3月末） 【評価・課題】計画的に購入できた。 《電子書籍》 【取組】利用可能タイトル数：3,989 閲覧：4,090回 【評価・課題】導入当初と比較すると閲覧回数が減少しており、さらに広報を行っていく必要がある。</p> <p>②貸出し・予約・リクエスト ○セルフ貸出機等の利用 【取組】ボランティア団体「オーテピアンズ」の協力などによりセルフ貸出機の利用の促進を図った。 【評価・課題】3月末現在の使用率は約77%。 ○資料のリクエスト・取り寄せ（相互貸借） 【取組】リクエストを受理してから各担当の購入の意思決定までの期間を、一週間以内とした。 相互貸借実績（借受数）：639件 【評価・課題】以前は意思決定まで時間のかかることがあったが解消された。</p>	<p>○引き続き利用者の多様なニーズに応えられる資料の収集に努める。</p> <p>○雑誌・新聞は寄贈も含め目標である2,000タイトルを目指す。</p> <p>○定期的にSNSでお知らせするなどして、引き続き電子書籍の広報に努める。</p> <p>○利用の促進を図っていく。</p> <p>○購入の意思決定や相互貸借をスピーディーに行えるよう努める。</p>

大項目	中項目	サービス計画本文	11月末までの【取組状況】(Do) それに対する【評価・課題】(Check) ※実績データは開館日7/24～11/30のもの (注釈のあるものを除く)	3月末までの【取組状況】(Do) それに対する【評価・課題】(Check) ※実績データは開館日7/24～3/31のもの (注釈のあるものを除く)	今後の『改善』(Action) (課題があれば対策を 意識して記入)
	(2)高知県関係資料の収集・保存・提供 収集、保存、提供	<p>高知県に直接関係する図書や雑誌、新聞、パンフレット、地図、DVD、CDなどだけでなく、高知県にゆかりのある資料も高知県関係資料として、収集し、提供します。また、高知県や県内市町村、関係団体が作成した資料(行政資料)等についても積極的に収集し、提供します。</p> <p>図書館の3階には、高知県関係資料を集めた専用のコーナーや、レファレンスのほか、貴重資料を閲覧するための部屋、調査や研究等の際に利用する研究個室等を設けており、さまざまな利用スタイルに合わせ利用できます。</p> <p>現在、所蔵している古文書・古記録等の歴史的資料については、適切な保管を行います。また、重要なものやニーズの高いものについては、順次、デジタル化を進め、ウェブ・サイトで公開します。</p>	<p>①資料の収集・提供 ○資料の収集 【取組】県内自治体等関係機関へ協力を依頼するとともに情報の収集にも取り組み、資料の収集に努めている。 【評価・課題】依頼しているが思うように収集できていない。依頼した直後は送付があっても、継続的なものにはなっていない。</p> <p>②貴重資料の保存 【取組】文化財IPM(※)の考えに沿って貴重書庫の環境管理を行っている(害虫トラップの設置、温湿度計測機器の設置)。 【評価・課題】適切に管理されている。</p> <p>※IPM(総合的有害生物管理)とは、農業分野をはじめ、薬剤だけに頼らず生物被害を防除する考えで行われている手法。</p> <p>③デジタル化資料のウェブ・サイトでの公開 【取組】ホームページで歴史的資料の絵図や地図など62,767点を公開している。 【評価・課題】公開できていない多くの未整理資料がある。</p>	<p>①資料の収集・提供 ○資料の収集 【取組】県内自治体職員が集まる機会などを利用して、直接協力を依頼するなどして、資料の収集に努めた。 【評価・課題】館への資料の送付が継続的なものとなるよう取組が必要。</p> <p>②貴重資料の保存 【取組】定期的に貴重書庫の環境調査を行うとともに、書庫内の清掃も実施した。 【評価・課題】特に問題は発生していない。</p> <p>③デジタル化資料のウェブ・サイトでの公開 【取組】ウェブ・サイト上の公開目録データ数62,767件(県市の計) 県の資料について、37点の資料をデジタル化した(公開については準備中)。 市の資料について、18,516点をデジタル化し公開した。 【評価・課題】県の資料について、多くの未整理資料がある。</p>	<p>○いろいろな機会を通じて関係機関へ依頼するなど周知していく。</p> <p>○適切に管理していく。</p> <p>○デジタル化を進め、画像データの作成・公開に取り組んでいく。県の未整理資料については、目録の作成を進めていく。</p>

大項目	中項目	サービス計画本文	11月末までの【取組状況】(Do) それに対する【評価・課題】(Check) ※実績データは開館日7/24～11/30のもの (注釈のあるものを除く)	3月末までの【取組状況】(Do) それに対する【評価・課題】(Check) ※実績データは開館日7/24～3/31のもの (注釈のあるものを除く)	今後の『改善』(Action) (課題があれば対策を 意識して記入)
2 暮らしや仕事の中でのさまざまな課題解決への支援					
	(1)レファレンス・サービス資料、利用ガイド、連携、PR、職員研修	レファレンス・サービスとは、図書館司書が利用者と一緒になって、資料や情報を調べる手伝いをするサービスのことです。「聞いてよかった」と利用者の皆様に満足していただけるよう、調べものをサポートします。「この本は図書館にあるか」といった質問から、暮らしや仕事の中で生じるさまざまな疑問や調べものまで、気軽に問い合わせただけできるよう、レファレンス専用窓口を2階、3階の各フロアに設け、レファレンス・サービスを提供します。図書館に来られない方に対しては、電話やFAX、メール、郵便に加え、図書館のホームページ上に専用フォームを設け、インターネットでもレファレンスを受け付けます。利用者が、自ら調査・研究を行う際に役立つよう、ブックリストやパスファインダーなどを整備します。また、閲覧席やグループ室など用途に応じたスペースの配置や、館内全てのフロアで無線LANがつながるよう、環境整備も行います。	<p>①資料の収集・提供【再掲】 ○利用者の多様なニーズに応える資料の収集・提供 H30資料購入費 183,263千円(県101,263千円、市82,000千円) うちオーテピア高知図書館分136,263千円(県101,263千円、市35,000千円) *いずれも当初予算額 《一般図書》 【取組】図書受入32,593冊(購入：26,502冊 寄贈：5,811冊 H30.4～11月末) 【評価・課題】計画的に購入できている。 《新聞・雑誌》 【取組】新聞・雑誌受入：1,815タイトル 雑誌受入7,652冊(うち購入6,071冊、寄贈等1,581冊 H30.4～11月末) 【評価・課題】計画的に購入できている。</p> <p>②利用ガイド ○ブックリストやパスファインダーの作成 【取組】ブックリスト、パスファインダーを作成し、館内やイベント会場で配布、ホームページで提供している。パスファインダーについては、順次新しいテーマについて作成を進めている。 【評価・課題】引き続き作成を進める必要がある。</p> <p>○ホームページ等によるレファレンスの受付 【取組】電話、FAX、メール、郵便に加え、ホームページ上に専用のお問い合わせフォームを設け対応している。 レファレンス件数：16,071件 国立国会図書館レファレンス協同データベース公開件数：2件 【評価・課題】内容によっては時間を要するなど、様々なレファレンスに十分には応えられていない場合がある。</p>	<p>①資料の収集・提供【再掲】 ○利用者の多様なニーズに応える資料の収集・提供 H30資料購入費 184,148千円(県101,979千円、市82,169千円) うちオーテピア高知図書館分133,963千円(県101,979千円、市31,984千円) *いずれも決算額 《一般図書》 【取組】図書受入55,380冊(購入：41,174冊 寄贈等：14,206冊 H30.4～H31.3月末) 【評価・課題】計画的に購入できた。 《新聞・雑誌》 【取組】新聞・雑誌受入：新聞150紙・雑誌1,509タイトル 雑誌受入12,269冊(うち購入9,085冊、寄贈等3,184冊 H30.4～H31.3月末) 【評価・課題】計画的に購入できた。</p> <p>②利用ガイド ○ブックリストやパスファインダーの作成 【取組】ブックリスト16種類、パスファインダー5種類を作成し、館内やイベント会場で配布したほか、ウェブ・サイトでも公開した。 【評価・課題】テーマを増やすとともに、情報の更新が必要となっていないかなどについて、適宜見直していく必要がある。</p> <p>○ホームページ等によるレファレンスの受付 【取組】レファレンスに関する研修に職員を派遣するなどし、職員のスキルアップを図った。 レファレンス件数：30,041件 国立国会図書館レファレンス協同データベース公開件数：2件 【評価・課題】引き続き職員のスキルアップに努める必要がある。</p>	<p>○引き続き利用者の多様なニーズに応えられる資料の収集に努める。</p> <p>○展示や出前図書館などの機会に作成するとともに、内容の見直しを図る。</p> <p>○職員を研修に派遣するとともに、研修内容を館内で共有し職員全体のスキルアップをはかる。</p>

大項目	中項目	サービス計画本文	11月末までの【取組状況】(Do) それに対する【評価・課題】(Check) ※実績データは開館日7/24～11/30のもの (注釈のあるものを除く)	3月末までの【取組状況】(Do) それに対する【評価・課題】(Check) ※実績データは開館日7/24～3/31のもの (注釈のあるものを除く)	今後の『改善』(Action) (課題があれば対策を 意識して記入)
(2)課題解決支援サービス					
	<p>①ビジネス・農業・産業支援サービス資料、利用ガイド、レファレンス、連携、情報リテラシー、アウトリーチ、PR、職員研修</p>	<p>県内で働いている方やこれから働きたい方、起業したい方等に対し、図書館の強みである資料を活用しながら、仕事に関するさまざまな課題解決を支援します。図書館3階の「ビジネス・農業・産業支援スペース」では、6～7万冊の関連資料(自然科学含む)をまとめて配置します。また、利用者が気軽に相談できるようレファレンス・カウンターを設置し、ビジネス支援担当司書が、情報収集や調べものをサポートします。中心市街地に立地し、また、人の集まりやすい図書館の強みをいかして、ビジネスに役立つ講座や学習会、相談会等を専門機関等と連携して開催します。あわせて、図書館が仕事に関する情報収集に役立つということも多くの方に知ってもらうため、出前図書館等を通じて、外に出て積極的に「提案」や「周知」も行います。</p>	<p>①資料 ○資料の収集・提供 【取組】所蔵冊数：約5万冊 開架には、図書48,127冊、新聞47紙、雑誌488タイトルを配架している。 【評価・課題】地元企業の情報・資料収集が思うように進んでいない。</p> <p>○データベースの導入・提供 【取組】「ルーラル電子図書館」「市場情報評価ナビ」「CD・Eyes50」など6種類の関連データベースを提供している。各データベースの詳細な説明チラシを作成している。 【評価・課題】データベースの利用を促進する必要がある。</p> <p>②レファレンス・サービス 【取組】レファレンス件数：1,371件 ブックリスト1種類を作成し、館内やイベント会場で配布、ホームページで提供している。パスファインダーについては、作成を進めている。 【評価・課題】引き続き作成を進める必要がある。</p>	<p>①資料 ○資料の収集・提供 【取組】開架には、図書50,321冊、新聞53紙、雑誌254タイトルを配架している。 リクエストや利用者のニーズに応じて本や雑誌を選書、購入した。 展示やイベントがきっかけとなり、地元企業の情報資料の収集につながった。また、チラシの館内での配布依頼も増えている。 【評価・課題】引き続き地元企業の情報・資料収集を進める必要がある。</p> <p>○データベースの導入・提供 【取組】外部講師を招いたデータベース講習会(ルーラル電子図書館(12/13)、ビジネス情報コース×2回(3/8、3/14))を開催し、データベース利用をPRした。 【評価・課題】引き続きデータベースの周知を図り、利用を促進する必要がある。</p> <p>②レファレンス・サービス 【取組】レファレンス件数：2,437件(全体レファレンス件数：30,041件) ブックリスト4種類を作成し、館内やイベント会場で配布したほか、ホームページでも公開した。パスファインダーは2種類を作成中。 【評価・課題】テーマを増やすとともに、情報の更新が必要となっていないかなどについて、適宜見直していく必要がある。</p>	<p>○今後も引き続き、各関係機関との連携を深め、収集を強化していく。</p> <p>○利用を促進するため、引き続き講習会等を開催するとともに、新規データベースの導入についても検討する。</p> <p>○展示や出前図書館などの機会に作成するとともに、内容の見直しを図る。</p>

③連携

○他機関と連携したセミナーや相談会等の実施

【取組】 専門機関や行政機関と、イベント、展示、セミナー、相談会等の共同実施 7回（うち出前図書館3回）

9/16土佐経営塾（参加者数20人）

10/3日本政策金融公庫記念行事（参加者数47人） など

【評価・課題】 カウンター業務もあるため時間的な制約があり、専門機関等との新しい事業展開が難しい。

③連携

○他機関と連携したセミナーや相談会等の実施

【取組】 アウトリーチ担当と協力して、専門機関や行政機関と、イベント、展示、セミナー、相談会等を11回（うち出前図書館8回）共同実施した。

12/9、3/10「犬・猫の飼い方講習会」での出前図書館、図書館サービスのPR

1/5～2/8「移住×地域展」 ※関連イベントとして『チェキ撮影会「とさターン!!」であそぼう』を実施（1/6,1/19）

1/5～2/28「放送大学展示」

3/1～3/31「ビジネスプランの磨き方」

3/31高知県森と緑の会による「こうち木育ひろば2019」実施 など

○アウトリーチ・サービスの実施

【取組】 アウトリーチ担当を中心に、外に出向いてのサービスPRや関係機関がオーテピアの諸室を利用する機会をとらえ出前図書館やビジネス支援サービスのPRを実施した。

2/6、2/8、2/13高知県商工会連合会地域連絡会議

2/19高知県中小企業家同友会月例会

2/25土佐技術交流会が月例会（データベースの説明含む）

【評価・課題】 相談内容に応じてきめ細やかに対応できるよう、より多くの専門機関との関係の構築が必要。

○すでに良好な関係にある連携先とは今後も関係を継続しつつ、新たな連携先となる専門機関等を開拓し、相談内容に応じて対応できるように努める。

大項目	中項目	サービス計画本文	11月末までの【取組状況】(Do) それに対する【評価・課題】(Check) ※実績データは開館日7/24～11/30のもの (注釈のあるものを除く)	3月末までの【取組状況】(Do) それに対する【評価・課題】(Check) ※実績データは開館日7/24～3/31のもの (注釈のあるものを除く)	今後の『改善』 (Action) (課題があれば対策を 意識して記入)
	<p>②健康・安心・防災情報サービス資料、展示、レファレンス、連携、情報リテラシー、アウトリーチ、職員研修</p>	<p>図書館の3階に、健康(病気の予防・健康の維持増進につながるスポーツなど)や社会保障、社会福祉、防犯、事故、防災等に関する6～7万冊の資料をまとめた専用スペースを設け、暮らしの中で生じる課題から「自分や家族、そして地域を守る」ための知識や情報を提供し、その解決を支援します。</p> <p>専用スペースには、資料と情報の相談に応じる担当の司書を配置し、図書ばかりでなく、医学文献情報や、新聞記事、法令・判例等のデータベースなど膨大な情報の中から必要と思われる情報を探し出し、提供します。</p> <p>図書館の資料・情報だけでは解決が難しい場合には、専門機関や団体等を紹介するなどして、課題の解決を支援します。</p> <p>多くの方が利用する図書館の強みをいかし、専門機関等と連携して、チラシの配布や企画展示の開催等、さまざまな形で情報を発信していきます。</p>	<p>①資料 ○資料の収集・提供 【取組】所蔵冊数：約4万冊、うち開架38,776冊(新聞18紙、雑誌278タイトル1,608冊) 【評価・課題】利用者や関係機関のアドバイス等に応じた収集、見直しを検討する。</p> <p>○データベースの導入・提供 【取組】「医中誌Web」「最新看護索引」「J-Dream III」の3種類の関連データベースを提供している。各データベースの詳細説明チラシを作成している。 【評価・課題】データベースの利用を促進する必要がある。</p> <p>②レファレンス・サービス 【取組】レファレンス件数：823件 ブックリスト3種類、パスファインダー4種類を作成し、館内やイベント会場で配布、ホームページで提供している。パスファインダーについては、順次新しいテーマについて作成を進めている。 【評価・課題】引き続き作成を進める必要がある。</p> <p>③他機関と連携したセミナーや相談会等の共催事業の実施 【取組】専門機関や行政機関と、イベント、展示、セミナー、相談会等の共同実施9回(うち出前図書館7回)。 また、県内の市町村立図書館等54館と連携した啓発展示(がん制圧月間)を開催。 8/4 8月4日は栄養の日～栄養ワンダー(来場者数約750人) 10/7 高知赤十字病院がん医療公開講座(参加者数134人) 女性のための防災BOOK展 【評価・課題】カウンター業務もあるため時間的な制約があり、専門機関等との新しい事業展開が難しい。</p>	<p>①資料 ○資料の収集・提供 【取組】開架には、図書38,673冊、新聞26紙、雑誌248タイトルを配架している。 【評価・課題】引き続き関連する情報・資料収集を進める必要がある。</p> <p>○データベースの導入・提供 【取組】外部講師を招いたデータベース講習会を2回実施。司書によるデータベース利用PRも併せて実施した。 【評価・課題】引き続きデータベースの周知を図り、利用を促進する必要がある。</p> <p>②レファレンス・サービス 【取組】レファレンス件数：1,697件(全レファレンス件数：30,041件) ブックリスト8種類、パスファインダー3種類を作成し、館内やイベント会場で配布したほか、ホームページでも公開した。 【評価・課題】テーマを増やすとともに、情報の更新が必要となっていないかなどについて、適宜見直していく必要がある。</p> <p>③他機関と連携したセミナーや相談会等の共催事業の実施 【取組】アウトリーチ担当と協力して、専門機関や行政機関等と、イベント、展示、セミナー、相談会等を26回(うち出前図書館16回)共同実施した。 3/24 第58回高知県医療ソーシャルワーカー協会大会(参加者数約120人) など 【評価・課題】相談内容に応じてきめ細やかに対応できるように、より多くの専門機関との関係の構築が必要。</p>	<p>○利用者や関係機関の要望・アドバイスや業界動向等に応じて、見直しや新規購入等を検討していく。</p> <p>○利用を促進するため、講習会等を開催するとともに、新規データベースの導入についても検討する。</p> <p>○展示や出前図書館などの機会に作成するとともに、内容の見直しを図る。</p> <p>○新たな連携先となる専門機関等を開拓し、相談内容に応じて対応できるように努める。</p>

大項目	中項目	サービス計画本文	11月末までの【取組状況】(Do) それに対する【評価・課題】(Check) ※実績データは開館日7/24～11/30のもの (注釈のあるものを除く)	3月末までの【取組状況】(Do) それに対する【評価・課題】(Check) ※実績データは開館日7/24～3/31のもの (注釈のあるものを除く)	今後の『改善』(Action) (課題があれば対策を 意識して記入)
	(3)情報リテラシー向上支援サービス講座等、利用ガイド、他の取組との連携	<p>県民・市民が、暮らしや仕事の中で生じるさまざまな課題を解決するために、必要とする情報を有効に収集や整理、評価し、活用することは重要なことです。</p> <p>図書館は、県民・市民が図書や雑誌、新聞、データベースやインターネットなどによる情報を収集や整理、評価し、活用する方法を習得することができるため、このため、利用者が、情報の探し方を知り、また、得た情報を比較検討し、信頼性のあるものをまとめ、応用していく方法を学ぶ、情報リテラシー向上のためのプログラムを、関係機関と連携し、年代や対象に合わせて実施します。</p> <p>図書館利用に障害のある方に対しては、高知声と点字の図書館等と協力して、取り組みます。</p>	<p>①講座等 ○図書館活用講座の実施 【取組】 図書館活用講座 11/6実施 受講者数13名 【評価・課題】多くの利用者の参加を促す必要がある。</p> <p>○データベース活用講座の実施 【取組】 データベース講習(基礎編) 10/4、11/28実施 延べ受講者数35名 中級～応用編については、外部講師を招へいし、より専門的な内容で年度内に実施予定。 【評価・課題】多くの利用者の参加を促す必要がある。</p> <p>②パスファインダーの作成・提供 【取組】館内やイベント会場で配布、ホームページで提供している。パスファインダーについては、順次新しいテーマで作成を進めている。 【評価・課題】引き続き作成を進める必要がある。</p> <p>③職場体験等での実施 【取組】職場体験、図書館見学などの機会を通じて本の探し方や、様々なサービスについての説明を行っている。イベント等でブースを設置し図書館サービス(データベースの利用)のPRを行った。 【評価・課題】参加者等に内容をよりわかりやすく伝える必要がある。</p>	<p>①講座等 ○図書館活用講座の実施 【取組】図書館の活用法や、図書館の蔵書検索、ウェブ・サイト、データベースなどの情報検索、情報収集、著作権に関する知識等を習得するための講座として、「図書館活用講座」を開催した。開催に際してはチラシの配布や館内放送により、利用者の参加を促した。 12/4、1/8、2/5、3/5の計4回実施 延べ受講者数48名</p> <p>○データベース活用講座の実施 【取組】開催に際してはチラシの配布や館内放送により、利用者の参加を促した。アウトリーチ担当から連携機関にイベント案内を行った。 データベース講習会(ルーラル電子図書館) 12/13実施 受講者数16名 データベース講習会(医療健康情報コース/中級～応用編) 2/14、2/28実施 延べ受講者数34名 データベース講習会(ビジネス情報コース/中級～応用編) 3/8、3/14実施 延べ受講者数44名 【評価・課題】引き続き多くの利用者の参加を促すとともに、複数回受講する利用者から「何度も受講すると理解が深まる」という声もあったため、今後も継続して実施する必要がある。</p> <p>②パスファインダーの作成・提供 【取組】ブックリスト16種類、パスファインダー5種類を作成し、館内やイベント会場で配布したほか、ホームページでも公開した。 【評価・課題】テーマを増やすとともに、利用者に分かりやすいか、情報の更新が必要となっていないかなどについて、適宜見直していく必要がある。</p> <p>③職場体験等での実施 【取組】職場体験時には、課題について館内のデータベースや蔵書検索システムを使って調べるといった具体的な方法で行った。 【評価・課題】今後も図書館見学や図書館活用講座においても、よりわかりやすい方法で理解を広めていく必要がある。</p>	<p>○多くの利用者が参加しやすいよう開催時間や曜日の設定を工夫するとともに内容の充実を図る。</p> <p>○利用を促進するため、引き続き講習会等を開催するとともに、新規データベースの導入についても検討する。</p> <p>○展示や出前図書館などの機会に作成するとともに、内容の見直しをはかる。</p> <p>○具体的に機器を使用するなどして、より分かりやすく楽しく学習できる工夫を凝らす。</p>

大項目	中項目	サービス計画本文	11月末までの【取組状況】(Do) それに対する【評価・課題】(Check) ※実績データは開館日7/24～11/30のもの (注釈のあるものを除く)	3月末までの【取組状況】(Do) それに対する【評価・課題】(Check) ※実績データは開館日7/24～3/31のもの (注釈のあるものを除く)	今後の『改善』 (Action) (課題があれば対策を 意識して記入)
	(4)行政支援サービス資料、利用ガイド、レファレンス、連携、アウトリーチ	高知県庁と高知市役所が行政運営や政策立案を行う際に必要となる資料や情報の提供等を、積極的に支援します。あわせて、専門的かつ幅広い知識・情報が得られ、「役立つ」ことを知ってもらえるように、広くPRも行います。また、図書館は不特定多数の利用者が定期的に訪れる施設であるという特長をいかして、パンフレットなどの配布や、庁内各機関等と連携した講座・イベントの開催等も行います。	<p>①資料の収集・提供【再掲】 ○資料の収集 【取組】県内自治体等関係機関へ協力を依頼するとともに情報の収集にも取り組み、資料の収集に努めている。 【評価・課題】依頼しているが思うように収集できていない。依頼した直後は送付があっても、継続的なものにはなっていない。</p> <p>○データベースの導入・提供 【取組】「ルーラル電子図書館」「市場情報評価ナビ」「CD・Eyes50」など6種類の関連データベースを提供している。各データベースの詳細な説明チラシを作成している。 【評価・課題】データベースの利用を促進する必要がある。</p> <p>②パスファインダーの作成・提供【再掲】 【取組】館内やイベント会場で配布、ホームページで提供している。パスファインダーについては、順次新しいテーマで作成を進めている。 【評価・課題】引き続き作成を進める必要がある。</p> <p>③庁内関係機関等と連携した取り組みの実施 【取組】貸施設や展示スペースを活用し、連携した取り組みを実施している。 ・高知市いきいきチャレンジ2018ほか多数のイベントで出前図書館を実施 ・オーテピアのホール等で県市各課室がイベントを行う際に、関連図書コーナーを設置 ・「動物愛護啓発ポスター展（県食品・衛生課）」「シェイクアウト訓練写真コンテスト（市地域防災推進課）」「がん検診知ってますか？（県健康対策課）」など作品展示・図書展示を多数実施 【評価・課題】設営や撤収が休館日や時間外での対応となることが多い。</p>	<p>①資料の収集・提供 ○資料の収集 【取組】県内自治体等関係機関へ協力を依頼するとともに情報の収集にも取り組み、資料の収集に努めている。 【評価・課題】依頼しているが思うように収集できていない。依頼した直後は送付があっても、継続的なものにはなっていない。市町村へのパンフレット等送付依頼方法について整理中。 ○データベースの導入・提供 【取組】外部講師を招いたデータベース講習会を実施（ルーラル電子図書館（12/13）、ビジネス情報コース（3/8、3/14））。データベース利用・行政支援サービスについてPRした。 【評価・課題】利用されていない時間が多いため、データベースの利用促進に一層努める。</p> <p>②パスファインダーの作成・提供 【取組】ブックリスト16種類、パスファインダー5種類を作成し、館内やイベント会場で配布、ホームページで提供している。パスファインダーについては、順次新しいテーマについて作成を進めている。 【評価・課題】引き続き作成を進める。また、利用者に分かりやすいか、情報の更新が必要となっていないか、適宜見直していく。</p> <p>③庁内関係機関等と連携した取り組みの実施 【取組】庁内関係機関と出前図書館、イベント時の関連図書コーナー設置、展示等を行った。 オーテピアのホール等で県市各課室がイベントを行う際に、関連図書コーナーを設置 「地場産業大賞受賞作品展（県産業振興センター）」 「高知商業高校野球部100周年記念パネル展（高知商業高校）」 「木育・森づくりパネル展（県林業環境政策課）」など作品展示・図書展示を多数実施 【評価・課題】図書館が役立つことのPRについて効率的に実施していく必要がある。</p>	<p>○関係機関への周知の徹底と、効率的に集める方法を検討する。</p> <p>○職員研修などの機会をとらえてPRするとともに、新設データベースの導入についても検討する。</p> <p>○展示や出前図書館などの機会に作成するとともに、内容の見直しをはかる。</p> <p>○庁内や関係機関と連携しながら、各種職員研修の場でPRするなど効率的な実施に向け取り組んでいく。</p>

大項目	中項目	サービス計画本文	11月末までの【取組状況】(Do) それに対する【評価・課題】(Check) ※実績データは開館日7/24～11/30のもの (注釈のあるものを除く)	3月末までの【取組状況】(Do) それに対する【評価・課題】(Check) ※実績データは開館日7/24～3/31のもの (注釈のあるものを除く)	今後の『改善』(Action) (課題があれば対策を 意識して記入)
3 利用者に対応した図書館サービスの充実					
	(1)児童サービス資料、展示、利用ガイド、レファレンス、行事、普及活動、児童書の選定支援、連携、情報リテラシー、アウトリーチ	<p>児童サービスは、小学生以下の子どもを対象とするサービスです。乳幼児期や学童期に、絵本や物語に親しむ時間を持ち、読書を通じて得られるさまざまな経験を重ねていくことは、子どもたちの豊かな人格形成のための大きな力となります。子どもたちが自分自身で図書や紙芝居を手にとってゆっくり楽しめる環境と、感性と知性、社会性を育むことができるような図書や雑誌、紙芝居、新聞等を提供します。また、おはなしコーナーや親子コーナーなどにおいて、「読み聞かせ」や「おはなし会」等も開催します。絵本の読み聞かせや図書の紹介等は、子どもたちの関心を読書に向ける大きなきっかけになります。そのことが理解され、継続的な取組となるよう、保護者や保育者、教職員等に積極的に働きかけていきます。あわせて、子どもの読書活動を支える人々のための研修会も実施します。また、子どもやその保護者が利用しやすいように、授乳室や子ども専用トイレなどを設置します。</p>	<p>①資料の収集 ○基本図書の充実 【取組】所蔵冊数：約5万冊 団体貸出：2,045冊 【評価・課題】計画的に購入できている。</p> <p>②子どもと本を結びつける行事の実施 【取組】おはなし会 開催回数延べ43回 読書会 開催回数延べ3回 【評価・課題】定期的な行事は実施している。読み聞かせやストーリーテリング技術の向上が課題。</p> <p>③保護者やボランティアなどへの読み聞かせなどの普及 【取組】おはなし連続講座（共催） 3回 ストーリーテリング勉強会 3回 【評価・課題】子どもの読書活動を理解し普及させる自館主催の講座を行うためには、人材の育成が必要。</p> <p>④児童書の選定支援 【取組】コーナー利用実績：13件41人 【評価・課題】児童書選定支援コーナーのスペースが狭い等、利用しづらい状況がある。</p>	<p>①資料の収集 ○基本図書の充実 【取組所蔵冊数】：56,096冊 【評価・課題】計画的に購入できている。</p> <p>②子どもと本を結びつける行事の実施 【取組】[おはなし会] 延べ94回 参加数：延べ2,066人 [手話でたのしむおはなし会] H31.3.17 参加人数：38人 [国際交流員協力による外国語のおはなし会] 延べ6回 参加人数：延べ398人（うち子ども199人） 【評価・課題】継続して行事を実施している。読み聞かせやストーリーテリング技術の向上が課題。</p> <p>③保護者やボランティアなどへの読み聞かせなどの普及 【取組】[楽しみながら学ぶおはなしの連続講座（共催）] 延べ7回 [読書会] 開催回数：延べ7回 参加人数：延べ60人 [ストーリーテリング勉強会] 延べ7回 参加人数：延べ57人 [読み聞かせ体験会] H30.12.6 参加人数：約40人 【評価・課題】子どもの読書活動を理解し普及させる自館主催の講座を行うためには、人材の育成が必要。</p> <p>④児童書の選定支援 【取組】コーナー利用実績：利用件数延べ22件75人 高知県学校図書館協議会の広報紙への掲載。県内3か所の教育事務所でのPRを実施した。閲覧スペースが狭いという問題があったが人数が多い場合は他の空いているスペースを利用してもらった。また、事前申し込みが必要だったが、当日申し込みも可とし、利用しやすくなるよう工夫を行った。 【評価・課題】来館が困難な遠隔地域の市町村立図書館や学校図書館へのサービスを実施する必要がある。</p>	<p>○利用者の多様なニーズに応えられる資料の収集に努める。</p> <p>○研修に参加するなど、人材育成に努める。</p> <p>○人材育成に努めるとともに、ボランティア団体等と連携しながら普及活動を行う。</p> <p>○遠隔地域での巡回展示の実施及びPRに努める。</p>

大項目	中項目	サービス計画本文	11月末までの【取組状況】(Do) それに対する【評価・課題】(Check) ※実績データは開館日7/24～11/30のもの (注釈のあるものを除く)	3月末までの【取組状況】(Do) それに対する【評価・課題】(Check) ※実績データは開館日7/24～3/31のもの (注釈のあるものを除く)	今後の『改善』(Action) (課題があれば対策を 意識して記入)
	(2)ティーンズ・サービス資料、展示、利用ガイド、普及活動、連携、情報リテラシー、PR	<p>10代の若い人たちにとって、読みやすい本、読みたくなる本、学校での学習内容を深められるような本、進路選択に役立つ本等を集めて、利用しやすいようにティーンズ・コーナーを設置し、提供します。</p> <p>また、中学生・高校生だけでなく、働いている10代の若者が、読書を通じて継続して学習ができるような本や、不登校等で悩む人にとって力となるような本も提供します。</p> <p>ティーンズ・コーナーに隣接した防音仕様のグループ室では、グループでのディスカッションなどができます。</p> <p>読書を習慣化させ、生涯にわたって学習や仕事で役立てることができるようなイベントやPR活動等もあわせて実施します。</p>	<p>①資料 ○ティーンズ・コーナーの設置・提供 【取組】所蔵冊数：約8千冊 【評価・課題】計画的に購入できている。 ○学校案内等の収集・提供 【取組】県内の高校や専門学校に依頼し、学校案内資料を収集した。 【評価・課題】大学についてはまだ十分ではない。</p> <p>②ブックリストの作成・提供 【取組】企画展示と連動させてホームページ上にテーマリストを作成し公開している。 【評価・課題】ホームページ掲載だけでなく紙媒体での提供も必要。パスファインダーの作成。</p> <p>③イベントの開催 【取組】主催イベント「高校生ビブリオバトル」の開催。 11月24日(土) 参加：バトラー11名、観戦者54名 【評価・課題】読書を習慣化してもらえるよう、イベント等の開催に積極的に取り組む。</p> <p>④PR誌の発行 【取組】ティーンズ通信を季刊で発行。ホームページ上にて公開、館内で配布、また高知市内中学校・高等学校及び県立中高に送付している。 【評価・課題】紙面でイラストを募集したところ、利用者から応募があった。</p>	<p>①資料 ○ティーンズ・コーナーの設置・提供 【取組】所蔵冊数：約8千冊 ティーンズの興味・関心に応える本、学習内容を深めることのできる本等を収集し提供した。 【評価・課題】計画的に購入できている。 ○学校案内等の収集・提供 【取組】県内の高校や専門学校の学校案内に関する資料を収集した。 【評価・課題】大学については、引き続き取り組む必要がある。</p> <p>②ブックリストの作成・提供 【取組】食育に関するイベントと連動してブックリストを作成し、館内やイベント会場で配布、ウェブ・サイト上で提供した。パスファインダーは準備中。 【評価・課題】新たなブックリスト及びパスファインダーの作成を進める必要がある。</p> <p>③イベントの開催 【取組】ティーンズコーナーの展示架において、平成27年から30年までの4年間、高知市立愛宕中学校の読書部員等が毎年100冊ずつ選び抜いた本の展示を行った。 【評価・課題】引き続きイベント等の開催に取り組む。</p> <p>④PR誌の発行 【取組】定期的にティーンズ通信を発行し、提供している。 【評価・課題】誌面に掲載するイラストの募集には複数の応募があった。 読書の楽しみや図書館の活用につながるように、誌面の内容について検討が必要。</p>	<p>○専門学校や大学等の案内の収集に取り組む。</p> <p>○展示などの機会に新たなブックリストやパスファインダーを作成・提供していく。</p> <p>○各種イベントの開催について取り組んでいく。</p> <p>○誌面内容を充実させる。</p>

大項目	中項目	サービス計画本文	11月末までの【取組状況】(Do) それに対する【評価・課題】(Check) ※実績データは開館日7/24～11/30のもの (注釈のあるものを除く)	3月末までの【取組状況】(Do) それに対する【評価・課題】(Check) ※実績データは開館日7/24～3/31のもの (注釈のあるものを除く)	今後の『改善』(Action) (課題があれば対策を意識して記入)
	(3)多文化サービス 資料、展示、利用ガイド、普及活動、連携、職員研修等	<p>県内には、日本語以外の言語を使用する人や、日本語で会話はできても文字を読むことが難しいといった人等も生活しています。このため、図書館では、日本語を学習するための資料だけでなく、言語による情報の格差に配慮して、地域で生活するためのさまざまな情報や知識を提供していく必要があります。</p> <p>図書館の3階には、外国語で書かれた図書や雑誌、語学に関する図書等をまとめたコーナーを設置するとともに、異文化を知るきっかけとなり、本県に住む外国人の生活に役立つ展示を行います。</p> <p>また、地域で生活する外国の方との交流や相互理解につながるよう、外国語絵本の読み聞かせや、おはなし会、外国の文化に関する講演会等も実施します。</p>	<p>①外国語で書かれた各種資料の収集提供 【取組】英語・中国語・韓国語資料を中心とした収集をしている。リクエストには積極的に応じ収集に努めている。 【評価・課題】英語以外の言語についても広く収集している。</p> <p>②各種催しなどの開催 【取組】 ・国際交流コーナーを常設し、姉妹友好都市関連展示を実施している。 ・国際交流員協力による外国語のおはなし会（乳幼児の部、小学生の部）を開催（10月～）。 ・関係団体が主催するイベントに参加。 10/21高知県国際交流協会主催「国際ふれあい広場」 11/25青少年グローバルリーダー育成フォーラム inオーテピア2018 【評価・課題】関係団体とは積極的に連携し情報収集するとともに、展示やおはなし会などにより多文化を知る機会の提供ができています。</p>	<p>①外国語で書かれた各種資料の収集提供 【取組】外国語で書かれた図書や雑誌、新聞、県内外の公的機関の外国語版リーフレットの収集を行った。また、外国語資料のリクエスト、問い合わせに積極的に対応するとともに、次年度から新たに購入する雑誌、新聞についても検討した。 資料が探しやすいよう、外国語の書誌ルールを調整した。 図書館利用案内、サービス案内チラシ（2種）の多言語版〔英・韓・中（繁体／簡体）の4言語〕を作成するとともに、Webサイトも4言語の多言語ページを作成した。 多文化サービスを周知するため、利用案内等の配布先を調査した。 パスファインダーは2種作成・配布、HPへ掲載した。 【評価・課題】所蔵のない言語の雑誌・新聞の収集が必要。 多言語で作成している利用案内を効果的に活用するため、外国人が利用するより多くの場所で配布していく必要がある。</p> <p>②各種催しなどの開催 【取組】独立行政法人国際協力機構（JICA）との連携展示（パネル展示/図書展示）や、国際交流員と共同で外国語のおはなし会（未就学児の部、小学生の部）の開催など外国語の文化にふれる機会を提供した。関係団体が主催する館内イベントにおいて、多文化サービスの紹介や出前図書館の実施、多文化ブックリストの配布を行った。 [展示例] 9/11～10/18「JICA青年/シニア海外協力隊募集 写真展」 11/17～1/17「ことば～あなたの想いをおくる～」 1/19～3/14「世界のこどもたち～いま、私にできること～」 [HELLO WORLD～外国語のおはなし会～] 延べ6回 参加人数：延べ398人（うち子ども199人）</p>	<p>○各国語の参考書について買い替え等を順次行い、新鮮な資料の提供に努める。現在所蔵のない言語の雑誌、新聞を購入する。 また、多文化サービスの周知のため、利用案内等を外国人登録窓口等へ配布する。</p> <p>○展示や行事の開催を通じて図書館において異文化を知るきっかけづくりを引き続き行う。 ボランティアの活用について検討する。</p>

[グローバルリーダー育成フォーラム（主催：JICA四国、高知県国際交流協会 など）]

H31.3.10 参加人数：110人

【評価・課題】行事を通じて関係団体と積極的に連携し、情報収集するとともに、展示や各行事などにより世界の文化を知る機会の提供ができた。

担当職員だけではマンパワーが不足しており、より効率的に展示を実施していくにはボランティア活用の検討も必要。

大項目	中項目	サービス計画本文	11月末までの【取組状況】(Do) それに対する【評価・課題】(Check) ※実績データは開館日7/24～11/30のもの (注釈のあるものを除く)	3月末までの【取組状況】(Do) それに対する【評価・課題】(Check) ※実績データは開館日7/24～3/31のもの (注釈のあるものを除く)	今後の『改善』(Action) (課題があれば対策を 意識して記入)
	(4)図書館 利用に障害 のある人へ のサービス 資料、各 サービス、 ボランティ ア、PR、 アンケー ト、職員研 修	図書館では、視覚・聴覚障 害など文字情報の利用が 困難な人や、高齢、病気、そ の他の理由等により来館 が困難な方を図書館利用 に障害のある人と考え、 これらの人々に配慮した サービスを提供するとと もに、サービスを活用し ていただくためのPRを 積極的に行います。 障害のある人と図書や情 報を積極的につなぐた め、多様な資料やサー ビス手段、コミュニケー ション手段、ユニバーサ ル・デザインの考えに 沿った利用しやすい環境 を整え、「だれにでも」「や さしく」利用できる図書 館を目指します。 併設する「高知声と点字 の図書館」では、点訳や音 訳の資料等、著作権法に より利用者が制限される 資料を、一方、「オーテ ピア高知図書館」では、市販 の資料を収集すること で、重複することなく効 率的に資料を収集しま す。また、両館どちらの窓 口でも、双方の資料の貸 出し手続きが行えるな ど、一体的な運用を行 います。	<p>①資料 ○大活字本、LLブックの収集・提供 【取組】大活字本、LLブックは全点を購入している。 【評価・課題】朗読CDのほか、数の少なかった聴覚障 害者向け関係の資料についても積極的に収集している。</p> <p>○さわる絵本、手話付き絵本、布絵本の収集・提供 【取組】障害の有無にかかわらず、誰でも利用できるさ わる絵本、布絵本などを積極的に収集。盲学校でのイベ ントに資料を貸し出した。 【評価・課題】学校などとの連携が進んでいる。</p> <p>②各サービス ○来館が困難な方への宅配貸出サービスの実施 【取組】対象者を要介護5から3に引き下げ、利用対象 者の範囲を拡大した。 【評価・課題】開館後14名の新規登録につながった。</p> <p>○対面音訳サービスの実施 【取組】高知声と点字の図書館と連携して実施してい る。 ・開館後の両館合わせた対面音訳室の利用は425件 (うち登録ボランティア利用409件) 月平均利用回数は101件(うち登録ボランティア 利用97件。登録ボランティア利用前年度実績76件) 【評価・課題】対面音訳室数も両館合わせ6室となり以 前の二倍になった。参考図書もすべての部屋に備えてい る。</p> <p>○イベント等の開催 ・バリアフリー映画会(H30.12.16実施 80人) ・第5回ルミエールフェスタ(H30.12 総来場者数780 人(高知声 と点字の図書館行事)) ・手話によるお話し会(H31.3実施予定) ・サイエンスフェスタへの出展(H31.1 室戸市、H31.2 黒潮町) ・出前図書館(H30.12 2か所で実施)</p>	<p>①資料 ○バリアフリー資料の収集・提供 【取組】引き続き、大活字本、LLブック、さわる絵本 などバリアフリー資料を積極的に購入した。 【評価・課題】資料の充実を図る必要がある。</p> <p>②各サービス ○来館が困難な方への宅配貸出サービスの実施 【取組】引き続き、サービスを提供した。 【評価・課題】開館後21名の新規登録につながった。</p> <p>○対面音訳サービスの実施 【取組】高知声と点字の図書館と連携して実施してい る。 ・開館後の両館合わせた対面音訳室の利用は835件 (うち登録ボランティア利用797件) 月平均利用回数は102件(うち登録ボランティア利用 97件。登録ボランティア利用前年度実績76件) 【評価・課題】前年度に比べ月平均の利用回数は20件以 上増えている。</p> <p>○イベント等の開催 ・手話によるお話し会(H31.3.17実施 38人) ・高知みらい科学館主催のサイエンスフェスタへのブ ース出展(ブース立寄り者数 H31.1.13 室戸市 28人、 H31.2.10 黒潮町 92人)</p> <p>○さくらバリアフリー文庫(※)の団体貸出 【取組】バリアフリー資料の普及・啓発のために、県内 市町村立図書館に団体貸出をした。(土佐市、南国市) 【評価・課題】市町村立図書館との連携が進んだ。さら に多くの館に貸出をしていく必要がある。 ※さくらバリアフリー文庫……大活字本、LLブッ ク、録音図書などをセットにしたもの。読書が困難な方 でも読書を楽しめる様々な資料があることを知ってもら</p>	<p>○障害者団体などから 情報を収集するなどし て、バリアフリー資料 を積極的に収集・提供 する。</p> <p>○継続して実施する。</p> <p>○高知声と点字の図書 館と連携を密にして サービスを実施する。</p> <p>○継続的に開催し、館 で行っているサービ スの周知や啓発に努め る。</p> <p>○さくらバリアフリー 文庫の周知啓発に努め る。</p>

うことを目的に、市町村図書館等でコーナー展示してもらおう。

③ボランティア

○ボランティアの養成、スキルアップ講習会等の開催

【取組】高知声と点字の図書館と連携して実施した。

- ・対面音訳ボランティア養成講座（H31.1.20 39名）
- ・ボランティアスキルアップ研修会（H31.3.15 38名）

【評価・課題】養成講座参加者は前年度比7名増となった。（前年度実績32名）。今後は研修内容の充実も必要。

○高知声と点字の図書館と連携し、より効果的な研修プログラムの検討を進める。

大項目	中項目	サービス計画本文	11月末までの【取組状況】(Do) それに対する【評価・課題】(Check) ※実績データは開館日7/24～11/30のもの (注釈のあるものを除く)	3月末までの【取組状況】(Do) それに対する【評価・課題】(Check) ※実績データは開館日7/24～3/31のもの (注釈のあるものを除く)	今後の『改善』(Action) (課題があれば対策を意識して記入)
4	連携・支援及び図書館の活用	<p>(1)市町村立図書館等への支援(県立図書館機能) 人的支援、物的支援、アウトリーチ、PR</p> <p>県民がそれぞれの地域で、読書し、役立つ情報が得られる環境を整えます。東部・中央・西部の各ブロックの担当職員を配置し、各市町村立図書館等の状況に応じた支援を行うほか、物流サービスの充実や、移動図書館の運行等により、市町村立図書館等と連携・協力して、県内全域の読書環境と情報環境の充実に努めます。あわせて、住む場所に関わらず、県民が等しく、必要な図書館サービスが受けられるよう、遠方からでも市町村立図書館等を通して県立図書館の本を利用できることや、一般的には購入が難しい専門図書やデータベースが利用できることなど、サービスについて周知を図ります。</p>	<p>①人的支援 ○巡回訪問や依頼訪問等による支援 【取組】巡回訪問：29市町村延べ48回実施 【評価・課題】職員の欠員等により助言等を行える職員に限られており、日常的な巡回訪問は難しい状況。</p> <p>○研修の実施 【取組】図書館サービス基礎研修(35名参加)、ブロック別研修 連続講座(2か所×2回)の開催、県立図書館の職員を派遣するどこでも研修(4市町村)の開催。 【評価・課題】研修講師を行える職員に限られている。市町村で派遣研修を受講した職員が異動するなど研修内容の定着も課題。市町村立図書館等の個別の状況に応じた研修メニューの検討が必要。</p> <p>②物的支援 ○市町村のニーズに応える資料の収集・提供 【取組】セット貸出用資料や市町村のニーズの高い資料の重点的な収集を行っている。テーマごとの貸出セットや、市町村立図書館等のニーズに合わせて選書したまとめ貸しを実施。 【評価・課題】ニーズを正確に把握する必要がある。協力貸出サービス(セット貸し、まとめ貸し)は十分に利用されていない。サービスの周知が必要。</p> <p>○物流便による資料の配送 【取組】休館日を除き毎日発送を行っている。 【評価・課題】市外からの来館者に対してはチラシ等でサービス案内を実施しているが、来館していない県民への周知が十分にできていない。</p>	<p>①人的支援 ○巡回訪問や依頼訪問等による支援 【取組】巡回訪問：31市町村延べ69回実施 依頼訪問：5市町村延べ6回実施 【評価・課題】継続的に実施し、市町村職員との関係を強化していく必要がある。</p> <p>○研修の実施 【取組】ブロック別研修会(3会場41名参加)、連続講座(2会場×2回 94名参加)の開催、県立図書館の職員を派遣する「どこでも研修」(4市町6回41名参加)の実施。オーテピア高知図書館職員研修への市町村職員の受入れ。 【評価・課題】どこでも研修を受講し資料組織の見直しを実施した図書館があるなど、特に図書館未設置町村や環境整備が不十分な図書館に対する効果が期待できるため、今後も継続する必要がある。</p> <p>②物的支援 ○市町村のニーズに応える資料の収集・提供 【取組】課題解決に資するテーマを中心に貸出セットを20セット作成した。 【評価・課題】従前からニーズの高いテーマ(趣味関係等)と、今後、取り組みを進めたい課題解決に関連するテーマのバランスを考えながら収集・提供していく必要がある。またサービスの更なる周知も必要である。</p> <p>○物流便による資料の配送 【取組】サービスチラシを作成し、オーテピア利用者への配布・物流サービス対象施設への送付を行った。 物流取扱冊数：99,019冊 【評価・課題】オーテピアで借りた資料を返却するために地元の市町村立図書館へ足を運ぶ利用者が増加しており、これを市町村立図書館での貸出利用へとつなげる必要がある。</p>	<p>○年度当初の早い時期に巡回訪問を行い、各市町村の状況確認に努める。</p> <p>○OJT等により、支援協力を行う職員のスキルアップに努める。</p> <p>○市町村のニーズにも配慮しながら資料の充実に努める一方でサービスの周知も行き、利用の促進を図る。</p> <p>○チラシ配布等に加え、市町村職員が集まる機会などを利用し直接PRを行うなど周知に努める。</p>

③PR

○広報誌への掲載等

【取組】市町村立図書館を通じて受けられるサービスについての広報チラシを作成・配布するとともに、市町村立図書館等向けのブログを開始した。

【評価・課題】図書館を利用していない県民にも見ていただけるような配布方法の工夫が必要である。

③PR

○広報誌への掲載等

【取組】市町村の広報誌や図書館だよりへの掲載について協力を働きかけた。

【評価・課題】広報誌等への掲載についてさらに働きかけるなど、継続的な広報が必要である。

○チラシ配布等に加え、市町村職員が集まる機会などを利用し直接PRを行うなど周知に努める。

大項目	中項目	サービス計画本文	11月末までの【取組状況】(Do) それに対する【評価・課題】(Check) ※実績データは開館日7/24～11/30のもの (注釈のあるものを除く)	3月末までの【取組状況】(Do) それに対する【評価・課題】(Check) ※実績データは開館日7/24～3/31のもの (注釈のあるものを除く)	今後の『改善』(Action) (課題があれば対策を 意識して記入)
	(2)高知市全域サービスの拠点(市民図書館機能)利用ガイド、レファレンス、連携、PR、職員研修	<p>市民図書館は、「すべての市民のための図書館」、「市民の生活の中に読書を、図書館を」を方針に、地域に密着した図書館でありつづけたいと考えています。高知市内には、オーテピア高知図書館のほか、6つの分館、15の分室があり、2台の移動図書館の運行も合わせて、高知市内全域で図書館サービスを展開しています。県立図書館、市民図書館の図書館資料は、物流便で、ご希望の分館・分室まで届けることができます。また、児童の主体的、意欲的な学習活動や読書活動を支えられるように、高知市内の小・中・義務教育・特別支援学校との連携を積極的に行います。</p>	<p>①ブックリストやパスファインダーの作成【再掲】 ○ブックリストやパスファインダーの作成 【取組】ブックリスト、パスファインダーを作成し、館内やイベント会場で配布、ホームページで提供している。パスファインダーについては、順次新しいテーマについて作成を進めている。 【評価・課題】引き続き作成を進める必要がある。</p> <p>②学校図書館との連携 【取組】学校図書館支援員の新任研修時に、図書館の活用方法について司書が説明を行っている。団体貸出についての案内通知を庁内メールおよび文書で実施した。 【評価・課題】貸出冊数：9,975冊、分館・室を通じた貸出件数140件。</p> <p>③PR ○分館・分室の周知 【取組】ホームページへの行事掲載、各館室発行の図書館だよりを地域で配布している。 【評価・課題】オーテピア高知図書館と高知市民図書館の分館室の利用について、まだ十分に浸透していないため未来館者への周知が必要。</p> <p>○移動図書館の周知 【取組】ホームページへ掲載している。 【評価・課題】ホームページ以外での周知が必要。</p>	<p>①ブックリストやパスファインダーの作成【再掲】 ○ブックリストやパスファインダーの作成 【取組】ブックリスト16種類、パスファインダー5種類を作成し、館内やイベント会場で配布、またホームページで公開した。 【評価・課題】引き続き作成を進める。また、利用者に分かりやすいか、情報の更新が必要となっていないか、適宜見直していく。</p> <p>②学校・学校図書館等との連携 【取組】分館による地域の小・中学校での読み聞かせや、ブックトークなど読書支援活動が継続実施されている。 平成30年度実績 貸出冊数 11,938冊 分館・分室での貸出団体件数 154件 【評価・課題】セット貸出しの種類の充実が必要。</p> <p>③PR ○分館・分室の周知 【取組】オーテピア館内での分館・分室情報の掲示・チラシ配布。 【評価・課題】オーテピアでの新規登録者に対し分館・分室も利用できることの説明の徹底。</p> <p>○移動図書館の周知 【取組】ホームページ上の移動図書館ページへのリンクボタンを見やすい位置に移動させた。 【評価・課題】ホームページ以外での周知が必要。</p>	<p>○展示や出前図書館などの機会に作成するとともに、内容の見直しをはかる。</p> <p>○セット貸出の種類を充実していく。</p> <p>○今後も周知に向けて、効果的なPRに努める。</p> <p>○ネット環境がない、または不得手な市民へカウンター等でPRする方法について検討する。</p>

大項目	中項目	サービス計画本文	11月末までの【取組状況】(Do) それに対する【評価・課題】(Check) ※実績データは開館日7/24～11/30のもの (注釈のあるものを除く)	3月末までの【取組状況】(Do) それに対する【評価・課題】(Check) ※実績データは開館日7/24～3/31のもの (注釈のあるものを除く)	今後の『改善』 (Action) (課題があれば対策を 意識して記入)
	(3)県立学校図書館等との連携・協力(県立図書館機能)協力、アウトリーチ、PR	<p>子どもたちが、読書の習慣や資料を活用して学ぶ力を身につけるためには、早い段階から図書館等を活用することが有効であり、学校図書館の役割は重要です。</p> <p>オーテピア高知図書館では、市民図書館と県立図書館とが役割分担し、高知市立学校へのサービスは市民図書館が、県立学校等へのサービスは県立図書館が、学校図書館と連携しながら行います。</p> <p>県立図書館は、県立学校等に対して、要望のあったテーマに応じた資料のまとめ貸しやレファレンスなどの協力を行い、子どもたちの学びを支えます。また、学校図書館の要望に応じて、運営やサービスの充実に向けた支援、必要な情報の提供等も行います。</p> <p>なお、高知市以外の市町村立学校は、各市町村立図書館等を通して県立図書館が支援します。</p>	<p>①学校図書館の要望に応じた資料のまとめ貸し 【取組】県立高校へは団体利用カードと利用案内を送付している。開館後、数は少ないもののこれまで全く利用がなかった高校から貸出希望も寄せられている。 貸出実績：12校240冊 【評価・課題】県立学校(高校)等で活用できる資料が十分整っていない。学校司書とのネットワークが必要。</p> <p>②サービスの周知 【取組】オーテピア視察等の機会を中心に周知に努めている。 【評価・課題】各校を個別に訪問し状況を把握する必要がある。</p>	<p>①学校図書館の要望に応じた資料のまとめ貸し 【取組】高校生を対象とした内容の貸出セットの作成を始めた。 貸出実績：12校322冊 【評価・課題】ティーンズ向けの協力貸出用資料が少ない。県立学校(高校)図書室の利用実態やニーズを把握したうえで、資料収集への反映や提供方法の検討を行う必要がある。</p> <p>②サービスの周知 【取組】サービスの周知を図るため、県立学校を所管する高等学校課と学校訪問について協議を行い、連携して取り組みを行うこととした。 【評価・課題】訪問にあたっては、時期を考慮するとともに、学校(図書館)側のニーズをしっかりと把握する必要がある。</p>	<p>○司書が配置されている学校を中心に訪問を行い、学校図書館の利用状況等の確認を行う。</p> <p>○新年度に実施する学校訪問や広報物等の作成などにより、学校へのサービス周知に努める。</p>

大項目	中項目	サービス計画本文	11月末までの【取組状況】(Do) それに対する【評価・課題】(Check) ※実績データは開館日7/24～11/30のもの (注釈のあるものを除く)	3月末までの【取組状況】(Do) それに対する【評価・課題】(Check) ※実績データは開館日7/24～3/31のもの (注釈のあるものを除く)	今後の『改善』(Action) (課題があれば対策を意識して記入)
	(4)中心市街地活性化への寄与・周辺施設との連携 中心市街地活性化への寄与、周辺施設との連携	オーテピア高知図書館の持つ、図書館資料や情報、司書の専門性、利用しやすい場所といった資源を活用しながら、地元商店街等と連携・協力した取組を行うことにより、中心市街地活性化に寄与します。 また、産学官民連携センターや県立大学永国寺キャンパス、高知城歴史博物館等の周辺施設との連携・協力した取組を行うことにより、お互いに持っている強みや機能をさらに充実・強化し、互いの施設の利用促進や情報発信等につなげていきます。	<p>①中心市街地活性化への寄与</p> <p>○商店街や日曜日等の情報発信 【取組】図書館総合展地域フォーラム(9月)の関連行事「日曜日散策ツアー」に合わせて館内で日曜日関連本の展示を実施した。 【評価・課題】継続した取組にする必要がある。</p> <p>○商店街との協働 【取組】お城下のお店の方が教えてくれる「得する街のゼミナール」(まちゼミ)に一店舗として参加した。 開催日:11/9、11/23、11/30 延べ参加者数:23人 【評価・課題】将来的には、商店街の店舗に図書館の本を貸し出し、来店者等に広く利用してもらう「まちなか図書館」の実施につなげていく。</p> <p>②周辺施設との連携</p> <p>○文化施設との連携 【取組】高知城歴史博物館や文学館が実施する企画展示に関連した本の展示等を館内で実施した。11月には、お城下ネット7施設合同イベントを開催。また、周辺文化施設のイベントチラシやポスターの掲示による情報発信を実施した。 【評価・課題】連携した取組は行っているが、互いの施設の利用促進にまではつながっていない。</p>	<p>①中心市街地活性化への寄与</p> <p>○商店街や日曜日等の情報発信 【取組】平成31年12月から、高知市公式Webサイト中「おまちと商店街のイベント予定」(市商工振興課とりまとめ)にてオーテピアでのイベント情報を発信中。 【評価・課題】継続した取組にする必要がある。</p> <p>○商店街との協働 【取組】新年度5月開催の「得する街のゼミナール」(まちゼミ)への参加にむけて準備を行った。今回から高知みらい科学館、オーテピア声と点字の図書館も参加。関連展示も早めに実施する。 「カフェ読」(利用者に本を借りてもらい、商店街のカフェなどで読書をしてもらう取り組み)について企画案を作成し、各関係機関と検討を進めている。各機関と関係が構築できたため、各種会合への相互参加も予定している。 「まちなか図書館」(商店街の店舗に図書館の本を貸し出し、来店者等に広く利用してもらう取り組み)については、協働できる仕組みを検討していく。 宿泊施設への団体貸出については、関係団体への説明時期を検討中。 【評価・課題】「カフェ読」「まちなか図書館」「宿泊施設への団体貸出」とも、実施するにあたっての課題の洗い出しが必要。</p> <p>②周辺施設との連携</p> <p>○文化施設との連携 【取組】高知城歴史博物館や文学館が実施する企画展示に関連した本の展示等を館内で実施。また、周辺文化施設のイベントチラシやポスターの掲示による情報発信も実施。 『2019年度お城下文化手帳』を作成中。 【評価・課題】連携した取組は行っているが、互いの施設の利用促進にまでは至っていない。</p>	<p>○関係課と連携しながら継続した取組にしている。</p> <p>○関係機関とより密な連携を構築し、実施について協議・検討を進めている。</p> <p>○相互に連携協力を進めていく。</p>

○教育・産業支援施設との連携

【取組】県産学官民連携センターが主催する「土佐経営塾」において図書館活用講座を実施。ビジネス支援デスクの活用等を説明している。

高知県立大学との連携により、オーテピア高知図書館のボランティアサークル「オーテピアンズ」を結成した（22名参加）。

【評価・課題】教育・産業支援施設と連携した課題解決支援につながる支援を継続する必要がある。

ボランティアの活動内容の拡大と支援体制の構築が必要である。

○教育・産業支援施設との連携

【取組】「おためしMBA」での司書による相談窓口の設置や、講座に合わせたブックリストの提供など、令和元年度でのさらなる連携を検討中。

【評価・課題】教育・産業支援施設と連携した課題解決支援につながる支援を継続する必要がある。

○イベントの企画など、活動の幅を広げていけるような仕組みづくりを意見交換しながら進め、継続して展開していける形を構築していく。